

## 「全人医療」をもとに、 地域に愛される病院を

日本バプテスト病院理事長・院長 尼川龍一さん



地域を支え、住民に信頼される病院はどうあるべきなのか——。「全人医療」を掲げ、周産期医療から終末期医療まで、地域に根差した医療を提供している日本バプテスト病院(京都市左京区)。「断らない病院」としてコロナ禍の初期から発熱外来とコロナ専用病棟を設置し、コロナ患者を積極的に受け入れ、京都府と京都市からは「コロナ診療の最後の砦」との高い評価も受けた。これからの地域医療をどのように担っていくのか。尼川龍一理事長・院長に現状と課題についてお聞きしました。

### 日本バプテスト病院とは

当院は、米国南部バプテスト諸教会の寄付により作られた日本バプテスト連盟により1955年に設立されました。目の前に大文字山を望み銀閣寺からも程近い緑に囲まれた閑静なところです。設立当初、職員は全員クリスチヤンでしたが、現在は6%です。イエスキリストの隣人愛に基づく「全人医療」の理念を掲げ、患者さんの体だけでなく心や魂までしっかりとケアすることを職員一同がけています。

また敷地内に牧師室とチャペルがあり、チャプレン(教会に属さず施設で働く牧師)がキリスト教式の礼拝や朝礼を司っています。そして「周産期医療から終末期医療」まで幅広い診療レパートリーを持つ地域に根差した病院となりました。

——その後、静岡市立静岡病院に勤務されましたね。

静岡市は風光明媚な土地柄で、住民の人柄もおおらかで穏やかでしたので、楽しく仕事をことができました。北先生が「血液内科には総合的な診療能力が要求される。循環器内科でもしっかりと研修して来なさい」と、自分も研修された静岡病院を紹介してくださいました。3年間、血液内科と循環器内科でお世話になりました。

当時、そこには異型狭心症が冠動脈狭窄により起こることを世界に先駆けて証明された泰江弘文先生(後の熊本大学教授)が在籍していました。泰江先生からは「科学的好奇心を持つ」ことの大切さを学び、在籍した3年



され、リンパ球に複数のタイプが存在することなどが明らかになりました。また、白血病や悪性リンパ腫におけるがん遺伝子が次々と同定されたのもこの頃です。当時の血液内科領域は斬新な風が吹き込む大変魅力的な分野だったのです。このことも血液内科を目指す原動力となりました。

——その後、静岡市立静岡病院に勤務されましたね。

1986年に京大第一内科の福原資郎先生から誘われ、大学院生として念願の悪性リンパ腫の研究に従事しました。福原先生は悪性リンパ腫の染色体分析における大家で、その指導を受けて、悪性リンパ腫のテーマで博士号を取得しました。比較的トントン拍子に研究が進み、3つの英文論文を発表できました。福原先生は粘り強く研究をされる現象を見つけると、その理由をとことん追求する方でした。

——京大第一内科での印象に残っていることは。

間で約200例の心臓カテーテルによる検査と治療(P-T C R: 経皮経冠動脈血栓溶解療法)を担当しました。何日も泊まり込んで心筋梗塞患者のケアをしたこともあり、それらの経験はその後の血液内科医としての診療に役立っています。

### 日本バプテスト病院とは

——まず、周産期医療の取り組みについてお聞かせください。

設立当初から当院の周産期医療はよく知られ、祖母、母、娘3代にわたって出産されるケースもあります。京都府から地域周産期母子医療センターに認定され、1995年に京都府下で最初に認可された新生児集中治療室(NICU、9床)があります。また、京都市内において数少ない新生児搬送車を1台所持しており、他の医療機関から他の医療機関に新生児を移送する三角搬送も担い、京都市域だけでなく広域(府外への搬送など)の周産期医療にも寄与しています。

### 医師への道

#### 尼川龍一さん

私は医師とは全く無縁の家庭に育ちました。父は石油会社を経営しており、大阪市内に本社と5つのガソリンスタンドを所有していました。幼いながら憧れて、医者になろうと思いました。

——そもそも、どうして医師になろうと。

私は医師とは全く無縁の家庭に育ちました。父は石油会社を経営しており、大阪市内に本社と5つのガソリンスタンドを所有していました。幼いながら憧れて、医者になろうと思いました。

### 医師への道

#### 尼川龍一さん

私は医師とは全く無縁の家庭に育ちました。父は石油会社を経営しており、大阪市内に本社と5つのガソリンスタンドを所有していました。幼いながら憧れて、医者になろうと思いました。

私は医師とは全く無縁の家庭に育ちました。父は石油会社を経営しており

